

令和4年度 多摩東人権啓発活動地域ネットワーク協議会事業

講演と音楽のつどい

令和5年1月14日（土）小金井宮地楽器ホール 参加者405名



前半は、「ウクライナの現状と戦争による人権侵害について」と題し、ウクライナ出身のラドゥーカ・タラス様と、現地に赴き止血帯等を届ける支援活動をしていらっしゃる加藤秀一様の講演でした。

加藤様が実際にウクライナで撮影された写真を交えながら、様々なお話をお聞きし、現地の過酷な現状を知ることができました。

後半は、ウクライナ出身のソプラノ歌手 オクサーナ・ステパニウック様とピアニスト 比留間千里様によるコンサートでした。

「キーウの鳥の歌」等のほか、「ふるさと」等、日本人に馴染みのある曲も披露していただき、美しい歌声と演奏に、会場は大いに盛り上がりました。



戦争により、様々な人権侵害が起きていることを痛感し、改めて人権や平和の重要性について考えさせられました。

開催にご尽力いただいた関係者の皆様、会場にお越しいただいた皆様へ感謝を申し上げます。



楽屋にて
オクサーナ様、ラドゥーカ・タラス様、比留間様と
一緒に。

